



報道関係者各位

NO.05-001

平成 17 年 9 月 20 日
株式会社マスターピース
東京都港区南麻布 2-8-12
日本生命南麻布ビル

**中国大連市で日系企業向けの「データエントリーセンター」を開設
これまでにない「低価格」の新サービスを開始**

中国遼寧省大連市で日系企業向けのコールセンター事業を展開する株式会社マスターピース（東京・麻布、代表取締役 佐藤修）は、同市内にある大連総合中等专业学校（以下、中専）と提携し、敷地内に人材育成機能を含むデータエントリーセンターを設立し、日系企業向けに 2005 年 9 月 23 日よりサービスを開始する。

料金は、アンケート葉書で 8 円/件、クレジット申込書で 14 円/件。国内同サービス価格の 50% 以下、中国国内にある日系企業向けサービスとの比較においても 20% ~ 30% の価格差がある。本データエントリー事業は、初年度 1.5 億円の売上を見込んでいる。

本データエントリー事業は、顧客データの入力やクレジット申込書のデータ化等あらゆる情報を日本語でデータ化するサービス。東京の株式会社マスターピースで原票を預かりスキャンした後専用線を通じて本センターに送信し、中国サイドにて入力専門ソフトを使いエンターベリファイと 2 度入力し現地日本人のスーパーバイザーによるデータ検証後日本のマスターピースを經由して顧客に納品する流れ。入力の正確性を維持するため、二人のオペレーターが一件の作業を同時に入力し、照合確認する仕組み。

尚、本センターは 1 年間の試用期間を経て、既にコクヨグループの受注データ処理業務を受託し、また 9 月より株式会社ユナイテッドアローズの業務も開始している。現在日本語を理解する中国人スタッフが 170 名勤務しており、一日 20,000 件以上のデータ処理を行うキャパシティを有している。

本センターはセキュリティー対策にも十分に配慮しており原票を細かく分割し画像化して中国側に送信する際に、株式会社マスターピースの東京～大連間で結ばれたセキュリティーレベルの高い IP-VPN 専用線（仮想私設網）を使用し、外部からの傍受を防いでいる。

尚、株式会社マスターピースは、2004 年に日本のコールセンター業界で始めて「プライバシーマーク」を取得している。



MASTERPIECE News & Information

大連市総合中等专业学校

1992年10月4日設立。代表者(校長)は金小河女史。現在、職員数は145名、生徒数は1,950名。学部は、コンピューター、Eコマース、ビジネス外国語(英語、日本語)、ホテル、漢方健復保険、秘書等。2004年に遼寧省教育局より「全国重点学校」に認定されている。

尚、株式会社マスターピースは2005年6月に「MPC奨学金奨励基金制度」を設立し、同校の人材支援を積極的に展開している。

報道機関からのお問い合わせ：

株式会社マスターピース BPO事業部 澤井

03-5442-7174

「データエントリーセンター」ホームページ

<https://www.m-piece.com/d-entry.html>

マスターピースホームページ

<https://www.m-piece.com/index2.html>